

平成26年度「市民と議会の意見交換会」報告書

平成26年 12月 17日作成 A班 代表者 村上 均

開催日時	平成26年11月10日（月曜日） 午後18時30分 開会 ～ 午後20時20分 閉会			
開催場所	東部コミュニティセンター			
出席議員	小野敏雄議長	代表者	野呂 照幸（代理）	
	司会者	松本 衆司		記録者 燕 昌克
	鵜城 雪子	坂本 茂	対馬 真澄	
参加人数	7 人			

議会報告に対する質問等の要旨及び回答の要旨	<b>第1常任委員会報告</b>			
	質問1	資料5の雪対策懇談会は町内会向けなのか		
	回答1	町内会向けである。		
	<b>第2常任委員会報告</b>			
	質問1	特養の92名の待機者解消について		
	回答1	委員会として待機者解消について市に対し要望をしている。所管からは確たる回答はないが、第6次計画策定に向け要望していく。		
	質問2	何年かかれば解消するのか。		
	回答2	難しい内容である。まずは意見を聞いて、しっかりと受け止め切実に訴えていく。		
	質問3	知り合いが特養の入所を断られた。いつ入ることができるのか。		
		土地や予算の都合もあると思うが、しっかりと調査してほしい。		
	回答3	切実な問題として持ち帰らせていただき、対応を協議する。		
	<b>決算審査特別委員会</b>			
	質問1	セブンイレブン南町店の向かいの私道には除排雪が入らないため、年金受給者が7軒ほどで1軒当たり3万円を出し合って除排雪を民間業者にお願いし		

議会報告に対する質問等の要旨及び回答の要旨

	ている。また、雪を捨てる場所がないため隣同士の争いが起きている。
	市道以外での対応について、補助金等について考えをお聞きしたい。
回答 1	現段階では回答できないので持ち帰り、委員会で協議していきたい。
	また、高齢者問題としても検討していく。
	市道と私道では制度上違う。別の考え方が必要となる。
	<b>意見交換「除排雪」「ぷるも」その他について</b>
意見 1	南町は人造石油からの道路であり、行き止まりが多く、雪を出すところがない。
	年に1回でもいいので、雪を排出することができればありがたい。お年寄りに
	思いやりを。
回答 1	切実な問題である。持ち帰って所管に伝え対応したい。
意見 2	長沼市長時代に融雪設備の補助制度があったが、現在はどうなっているか。
回答 2	ダンプや移動式融雪機の貸し出しを行っている。
意見 2 ②	高齢者には操作が厳しい。
回答 2 ②	持ち帰って対応したい。
問いかけ	ぷるもに行っていますか。
答え	会場から南町、潮静からは交通の便が悪いので行かない。(行く機会がない)
意見 3	定数のアンケート調査において、削減が50%を超えたがなぜ現状維持か。
	何のためにアンケートを行ったのか。最近ではビアパーティーなどに参加する
	議員が少なくなっている。もっと参加して、市民と直接会話をする機会を作る
	べき。このようなことであれば、定数が減っても問題がないのではないか。
回答 3	人口減少問題があるが、何のために議会があるかである。予算や施策のチェッ
	クや議会及び議員の施策提案能力の向上などが主なものである。今までは市民
	の声を聞く作業をしてこなかった。今後はもっと市民に近づいていく。